



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.702 2023.11.22

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

物価高騰緊急対策 ケアに手厚い区政 子育て・教育 まちづくり 気候危機打開

暮らし支援の新年度予算に

日本共産党北区議員団と、そね都議が山田区長に要望書を提出



山田区長に2024年度北区予算編成に関する要望書を手渡す日本共産党北区議員団

20日、日本共産党北区議員団は山田区長に、10の柱200項目からなる「2024年度北区予算編成に関する要望書」を提出しました。（のの山けん）

要望書では、急激な物価高騰の下、3つの視点で予算編成にあたるよう求めました。

積み上がった

財調基金の活用を

第1は、基金の活用で、暮らし・営業を支援することです。

すぐにでも暮らしの支援に使える財政調整基金は、昨年度末で過去最高の200億円に達しています。新年度予算編成で、大胆な活用を求めます。

コストカット型の

「行革」見直しを

第2は、経営改革プランの改定を機に、コストカット型の「行革」

路線を、抜本的に見直すことです。

この間、指定管理者制度が導入された施設で、賃金切り下げなど相次ぐ問題が発覚しています。

まちづくりは

住民合意を大切に

第3は、「公民連携」のかけ声で民間大企業の利益に奉仕するまちづくりから、地域住民の声と合意を大切にしたい、誰もが安心して住み続けられるまちづくりへと軸足を移すことです。

要望書の提出には、そねはじめ都議、遠藤久党北地区委員長も同席しました。

「日本国」は福島放射能汚染水を海に流す以外の選択を排除した

原発推進は戦争への道



講演する小出裕章さん

北区革新懇が緊急講演会 小出裕章さんが渾身の訴え

19日、赤羽文化センターで北区革新懇主催の緊急講演会が開かれ、原子力工学の第一人者で元京都大学助教の小出裕章さんが、『日本国』は福島放射能汚染水を海に流す以外の選択を排除した」と題し、講演しました。

**汚染水を流さない
方策はあるのに**

政府が「処理水」と呼ぶ水には、除去できないトリ

チウムその他に、基準値ぎりぎりのセシウム、ストロンチウムが含まれている文字通りの「放射能汚染水」ですが、タンクを増設する敷地はまだ十分あります。

海に流さない方策はあるのに、漁民との約束を破ってまで海洋放出にこだわったのは、トリチウムの海洋廃棄を前提にした使用済み燃料の再処理という政策にしがみついているからだと言います。小出さんは指摘します。

**再処理が生み出す
プルトニウムが…**

ウランを利用する原子力は資源が貧弱なので、日本政府は核燃料の再処理によって得られるプルトニウムで原子力を稼働させることを検討してきたのです。

プルトニウムはまた原爆の製造資源であり、原発推進と戦争への道は重なっているのです。(の山けん)

夜のオリエンテーリング 王子の街を食べ歩き・飲み歩き



16日、北区民商主催の「夜のオリエンテーリング」に、日頃からお世話になっている3人の方々と参加。王子の街で食べて、飲んで、語り合っの楽しいひと時を過ごしました。(の山けん)

